

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANA クラウンプラザ  
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ  
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、  
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第205回 例会

2017年11月1日 13:00

- 司 会：島村恵三例会運営・司会委員
- 斉 唱：君が代 奉仕の理想
- 出席報告：出席者数 32名 / 会員数 42名  
出席率 76.19%  
前々回(203回) 修正出席率 76.19%
- ゲスト：安藤勝幸様
- ビジター：名誉会員 水野吉紹様  
名誉会員 八神基様

### ニコボックス

- 先月は大変ご迷惑をおかけ致しました。(水野吉紹 名誉会員)
  - 後藤さん 大変お世話いただきありがとうございました。(八神基名誉会員)
  - いつもお忙しい中、ご苦勞頂いている委員、委員長の皆様 本当にご苦勞様です。心より感謝致します。(藤谷猛会長)
  - 昨日うれしい事がありました。身も心も晴天です。  
(安井忠戦略委員長)
  - 昨日我が社大府工場の新築事務所棟の地鎮祭を行いました。来年末に完成しますので遊びに来て下さい。(安井嗣博さん)
  - 誕生日 11月07日 イイオンナ(1107)の日です。  
(佐藤義郎さん)
- ニコボックス合計 10,000円

### 会長挨拶

みなさん、こんにちは。

最近では寒暖の差が激しいですね。一日の気温差が、12度以上になる日も多いようです。こうなると体調を崩された方も多いと思います。大抵の方は、病気になると普通という状態の素晴らしさを再確認することになるのではないのでしょうか。風邪を惹いた程度であれば、よっぽどの事がない限り、健康な状態を取り戻すことが出来ます。しかし、この世界には、まだまだ未知の病気が山ほどあり、治療の方法も分からないことが多いようです。

今から数年前に私の妻の母親が他界致しました。義母は、ある日を境によく転倒するようになりました。よく観察していると歩く際に片足だけが上がらず引きずるようになっていたのです。ところが本人は全く気付いていないのです。自分では、ちゃんと歩いていると思っているのですが、現実には足が上がり転倒を高い頻度で繰り返していました。大学病院で診察を続けていましたが、原因は分からないままの日々が続きました。ところが、ある日やっと原因が分かったのです。「大脳皮質基底核変性症」という10万人に2人という、めったに遭遇しない難病でした。医師の判断は、4年程度で寝たきりになり命を失うという厳しいものでしたが、結果的に、その通りになってしまったのです。

脳からの命令が末端まで届かず、手足がだんだん動かなくなって行く病気でした。当初は、頻繁に転倒はするけれども歩行は可能であったので、何とか日常生活は可能でした。ところが、次に口が上手く動かなくなり、言葉が正しく発話できなくなりました。



この時には、筆談を行うことでコミュニケーションを保っていましたが、その後、手も上手く動かなくなり筆談も難しくなりました。

遂に動かせるのは目だけとなってしまいました。そして寝たきりになり、命を落とすこととなってしまいました。少し前までは、普通に生活を行っていたのに、何故こんな事になってしまったのかと本人も家族も自問自答を繰り返す毎日でした。直す方法もなく、難病の恐ろしさを思い知らされる日々でした。本人は、身体が動かなくても意識は正常なので、最後まで本当に苦しかったと思います。今、思い出しても辛さが蘇ってしまいます。

筆談が叶わなくなったとき、「あかさたな」で始まる5

0音の文字盤を造り目で文字を追ってもらう事で、長い時間を費やしながら会話を行っていました。この頃の私は職業柄、液晶ディスプレイに表示した文字の表を目で追うだけで文字を音声として発音できる装置を造ろうと考えていたのですが、命の時間に間に合わず実現できずに終わってしまったのです。

先日、ある会社が同様の製品を試作し、あの車椅子の物理学者ホーキング博士と同じ病気のALS(筋萎縮性側索硬化症)の患者さんのコミュニケーションツールとして実証実験を行っていました。身体の中で眼球しか動かせない患者さんは、その装置を利用し会話をする事に成功し、失った世界を一部ですが、取り戻したのです。その患者さんは、人と会話を行うことで、絶望の毎日から人として生きる力を取り戻したように思いました。

今こうして私たちが、普通に生きていられる事は奇跡的なバランスの上に成り立っているのではないのでしょうか。私たち誰もが、今日まで生きてきた事で、様々な力を身に着けているように思います。その自分の培ってきた職業の力を社会の役に立てられないのでしょうか。それこそが、生かされている事の恩返しのような気がしてなりません。

私たちロータリアンには、いろいろな機会が用意されています。今年も名大の小児がん基金への奉仕が進んでいます。これからも私たちアイリスは、小児がん患者の皆さんへの支援を続けて行きます。アイリスすべてのロータリアンが、その奉仕に参加し、心を向けて頂くことが、彼らに「心の車椅子」を渡すことになるのです。

こうして職業を営み、健康に生かされている事に感謝し、会長挨拶を終わります。

ありがとうございました。

#### ■ 幹事報告

深見礼子幹事より3点報告がありました。  
入口のホワイトボードをみておいてください。

1. 第6回ロータリー親善会議について
2. フィリピンの育英会のご案内
3. 11/18 11/19 開催の地区大会について

#### ■ 誕生日祝福

11/07 佐藤義郎さん  
11/21 山田智博さん  
11/26 菊池清さん  
11/30 伊藤善子さん  
おめでとうございます

#### ■ 卓話

株式会社セーフティジャパン 安藤勝幸様



警察にお勤めであった安藤勝幸様は、そのノウハウを生かし現在の会社を運営されております。犯罪、防犯に関する貴重なお話を伺いました。ありがとうございます。